

申立書

令和 年 月 日

大分市長 殿

所有者 住 所

氏 名

このたび、私が建築し、又は取得しました下記家屋は、現在のところ未入居の状態にありますが、自己の住宅の用に供するものに相違ありません。

記

1 家屋の表示

所在地

家屋番号

2 入居予定年月日 令和 年 月 日

3 入居が登記の後になる理由（該当するものに○印）

- (1) 資金を借りるため、抵当権設定を急ぐ。
- (2) 単身赴任の事情が解消したときは、当該申請住所に配偶者等先住親族と同居する。
- (3) () により登記までに入居できない。

4 現在の家屋の処分方法等（該当するものに○印）

- (1) 現有家屋を売却する。
- (2) 現有家屋を賃貸する。
- (3) 現有家屋が借家、借間、社宅、寄宿舍、寮等で契約を解除し明け渡す。
- (4) 現有家屋に証明申請者の親族が住む。
- (5) その他 ()

以上

なお、証明書交付後、この申立書に虚偽があることが判明した場合には証明を取り消され、税額の追徴を受けても異議ありません。